

令和2年12月4日

「ヤングケアラー対策について」

令和2年12月議会 本 会 議			
質問者	公明党	村上 直樹 議員	回答者 教育長

(質問) 1 ヤングケアラー対策について

初めに、ヤングケアラー対策についてお伺いします。本来、大人が担うと想定される家事や家族の世話などを行う18歳未満の子供のことをヤングケアラーと呼びます。その背景としては、核家族化や共働き、ひとり親家庭の増加といった家族構成の変化により、ケアを担う大人が減少し、子供がケアの担い手にならざるを得ない状況があるようです。総務省が行った2017年の就業構造基本調査では、家族を介護している15歳から29歳の推計人数は全国で21万人強だったそうですが、ヤングケアラーとなる18歳未満がどれほどの人数になるかは不明のようです。一方、厚生労働省は、虐待などで保護が必要な子供を支援する要保護児童対策地域協議会を対象とした調査研究により、ヤングケアラーに該当する事例は掌握されているようですが、日本ケアラー連盟は、その具体例として、幼い兄弟をケア、病気や障害のある家族をケア、高齢家族のケアなど10類型を示しております。そこで、お伺いします。

1点目に、ヤングケアラーの社会的な認知度はまだまだ低く、支援の手立てが差し伸べられにくいようです。日本では、介護は家族が担うものとの風潮が強く、子供は家族の介護で苦しんでいることを周囲に打ち明けづらいものと思います。子供が困っている状況を最も発見しやすいのは学校だと思いますが、日本ケアラー連盟の調査では、クラス担任を持つ教諭の約5人に一人が、自身のクラスの中にヤングケアラーと思われる児童生徒がいると回答したそうです。そこで、ヤングケアラーの状態にある子供を支援するにあたっては、教育委員会が調査を行う必要があると考えますが、見解をお伺いします。

(答弁)

教育に関しまして、2点お尋ねをいただきました。まず1点目のヤングケアラーに関して、教育委員会が調査を行う必要があるという点でございます。このヤングケアラーの問題については、看過できない重大な課題であると認識をしております。

教育委員会では、保健福祉局、子ども家庭局等と連携いたしまして、この問題への対応を進めております。ヤングケアラーと思われる子どもを発見した場合に、国が示したアセスメントシート等を利用、活用したアセスメントを実施するとともに、ヤングケアラーの可能性がある場合には、子ども・家庭相談コーナーへ連絡することなどを、先月11月の19日には各学校に対して通知するなど、連絡体制等について整備したところでございます。

また、学校教育の現場におきましては、児童生徒に家庭環境等を背景とした問題がある場合に、これまでもスクールソーシャルワーカーが学校や関係機関と連携をとりなが

令和2年12月4日

「ヤングケアラー対策について」

令和2年12月議会 本 会 議			
質問者	公明党	村上 直樹 議員	回答者 教育長

ら問題解決を図っておりまして、実際にもヤングケアラーと思われるケースへの対応も行っているところでございます。

議員ご提案の調査の実施に関しましては、先日の国会において、今月には国において調査を実施する方向であるという答弁があったものと承知しておりまして、その調査の内容等を踏まえて、保健福祉局、子ども家庭局等と連携しながら対応を検討していきたいと考えております。

いずれにしましても、ヤングケアラーの早期発見・支援は、教育委員会といたしましてもしっかりと行ってまいります。

(要望)

ヤングケアラー対策についてなんですけれども、今回、このヤングケアラーを取り上げたのはですね、私の知人でですね、お母さんは難病、お父さんは仕事が忙しい出張が多いという方、当然その子どもさんは、ヤングケアラーになっている状態だと思うんですけども、お母さんの病気っていうのが、進行してだんだん目が見えなくなるというんですね。10年以上付き合いがある方なんですけれども、子どもさんが3人いらっしゃるんですね。この方々を近所の方もそういった状況をよく知ってまして、近所の方がすごい気遣いをしてますし、いろんな激励を繰り返しております。何よりですね、この家族すごく仲がいいんですね。毎週末になると家族全員で買い物に行くとかですね、お母さんの補佐をしながらですね生活をしている方なんですけれども、そういった状況もあるんだろうと思うんですけども、子どもさん健やかに育ててですね、上のもう2人は成人して、上の子は就職して、2番目の子も来年いよいよもう就職ということで、あともう一人中学生が残っているんですけど、こういったケースもあるんですね。ただ、私たちは傍から見て以上の、やっぱりその家族は本当に大変な状況があるんだろうなというのは感じてはいるんですけども、そういったケースはあるんですけども、私が今回いろいろヤングケアラーのことについて調べた限りでは、やっぱりそうした子どもさんというのは、学業であるとか心身に不調とか悪い影響が出ているというような指摘もありますので、しっかりその調査をしていただいでですね、大事なことは、支援につなげていくことだと思いますので、各局が連携していただいでですね、しっかりと支援していただければと思いますので、どうぞ宜しくお願いいたします。